環境経営レポート

第一版

2022年10月1日～2022年12月31日

発行日：2023年2月28日

株式会社　肥後建設社

目　次

１. 組織の概要 …… p. 1

２. 認証・登録の対象範囲 …… p. 2

３. 環境経営方針 …… p. 3

４. 環境経営目標 …… p. 4

５. 環境経営計画 …… p. 5

６. 環境経営目標の実績 …… p. 6

７. 環境経営計画の取組結果と
その評価、次年度の取組内容 …… p. 7

８. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価
の結果並びに違反、訴訟等の有無 …… p. 8

９. 代表者による全体評価と見直しの結果 …… p. 8

環境活動の紹介 …… p. 8

1.　組織の概要

1）事業所名　　株式会社　肥後建設社
　代表者氏名　　代表取締役　轟木　哲也

2）所在地　　本　社　　〒869-2506　熊本県阿蘇郡小国町大字上田3217
　　倉庫　　〒869-2506　熊本県阿蘇郡小国町大字上田2955-1
　　資材置場　〒869-2501　熊本県阿蘇郡小国町大字宮原547-1
　　農園　　〒869-2506　熊本県阿蘇郡小国町大字上田3041

3）環境管理責任者　　業務課　　石井　剛
　担当者　　所属/役職　　寺尾
　連絡先　　TEL　0967-46-2264 FAX　0967-46-3731
　　Eメールアドレス　info@higo-aso.jp

4）事業の内容　　土木工事　　熊本県知事許可（特-1）　第1909号
　　ラズベリー栽培

5）事業の規模　　総売上額:1203百万円（　2021　年度）

	単位	事務所	倉庫	資材置場	農園
従業員数	人	29	0	0	0
延床面積	㎡	100	2500	5000	3000

6）事業年度　　7月～翌年6月

2. 認証・登録の対象範囲

上記の全組織及び全活動

環　境　経　営　方　針

　株式会社肥後建設社は、地域住民の安心安全便利をつくるインフラ整備を通して、地域社会発展へ貢献していきます
　また、地域の資源である自然環境への配慮に真摯に取り組み、縁ある全ての人が幸せになれるような環境活動を推進します。

1．次の項目を重点項目として継続して取り組みます。

（1）電力、燃料等のエネルギーの効率的な使用及び省エネに努め、
　　二酸化炭素排出量を削減します。

（2）一般・産業廃棄物排出量を削減します。

（3）節水に努め、水使用量を削減します。

（4）道路クリーンボランティアを実施し地域に貢献します。

2．当社の事業に関連する環境関連法規等を遵守します。

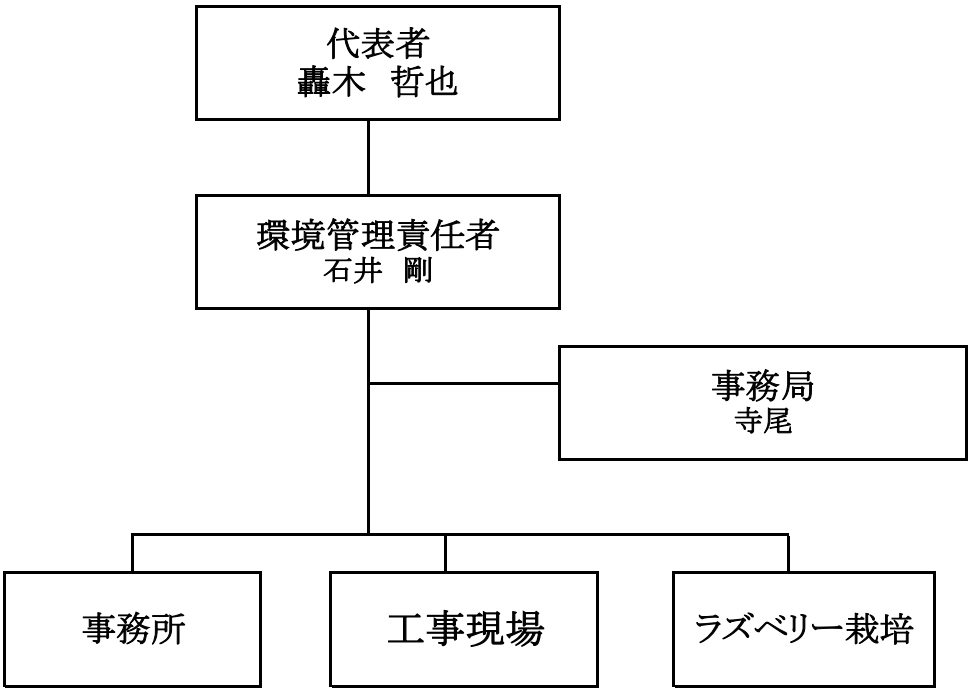
3．私たちはこの活動を通して、
　　環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。

制定日　2022年　　9月　　15日

株式会社　肥後建設社

代表取締役　轟木　哲也

・ＥＡ２１推進体制



代表者	・環境方針の制定 ・環境組織の明確化、必要な資源の投入 ・全体の評価と見直し
環境管理責任者	・マネジメントシステムの構築、実施、維持 ・目標管理票の作成と進捗管理 ・目標に対する実績や問題、改善の社長報告 ・環境コミュニケーションの総括窓口 ・教育・訓練の総括（緊急事態の想定、訓練含む）
EA21事務局	・集計表作成 ・文書、記録作成 ・環境活動進捗の把握
事務所責任者 部門責任者	・環境活動の社員への周知 ・環境管理責任者への報告 ・改善提案のまとめと提言
社員	・環境活動の実施 ・部門責任者への報告 ・改善提案

4. 環境経営目標

活動期間（試行期間）：2022年10月～2022年12月）

	単位	基準年 2021年度	目標				
			2022年度（1%削減）		2023年度 （2%削減）	2024年度 （3%削減）	2025年度 （4%削減）
			試行期間	年間			
		2021年7月～ 2022年6月	2022年10月～ 2022年12月	2020年7月～ 2021年6月	2021年4月～ 2022年3月	2022年4月～ 2023年3月	2023年4月～ 2024年3月
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO_2	253,842.0	**62,797**	251,303.5	248,765	246,227	243,688
(1)電気使用量削減	kWh	**42,427**	10,033	42,002.3	41,578	41,154	40,730
事務所	kWh	9,619	2,299	9,522.8	9,427	9,330	9,234
倉庫	kWh	5,370	1,142	5,316.0	5,262	5,209	5,155
現場	kWh	26,636	6,592	26,369.6	26,103	25,837	25,571
農園	kWh	802	145	794.0	786	778	770
(2)ガソリン使用量削減	ℓ	—	—	—	—	—	—
現場	ℓ	13,684	3,394	13,547.2	13,410	13,273	13,137
(2)軽油使用量削減	ℓ	—	—	—	—	—	—
現場	ℓ	79,654	19,746	78,857.0	78,061	77,264	76,467
2. 廃棄物排出量の削減		—	—	—	—	—	—
一般廃棄物排出量の削減	t	0.192	48	0.190	0.188	0.186	0.184
産業廃棄物リサイクル率	%	95%以上	95%以上	95%以上	95%以上	95%以上	95%以上
3. 水使用量の削減	m^3	257.0	59.4	254.4	252	249	247
4. 地域貢献活動の推進 （道路クリーンボランティア）	回	2	1	2	2	2	2

備考

1. 購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.391kg-CO2／kWh（九州電力　2021年度・調整後）を使用した。

5.環境経営計画

項　　目	具　体　的　な　活　動	頻度	事務所	工事現場	ラズベリー栽培
1．二酸化炭素排出量	①昼休みの消灯	毎日	○	○	環境負荷がほぼ「ゼロ」である。 必要に応じて、省エネ、省資源（ごみの持ち帰りなど）を実施した。 清掃活動を実施した。 活動の評価は、「○」と判断した。
	②使用時以外のトイレの消灯	毎日	○	—	
1-1.電気使用量の削減	③ＯＡ機器,空調機の退社時の電源オフ	毎日	△	—	
	④空調機の室内温度設定・実施の徹底	毎日	○	△	
	⑤空調機フィルタ-の定期的清掃	年1回	△	△	
	⑥日よけ、ブラインドによる室温上昇防止（夏季）	毎日	○	○	
	⑧節電表示の徹底	毎日	△	×	
1-2　ガソリン使用料の削減	①社用車エコドライブの推進・徹底（アイドリングストップ、経済運転など）	毎日	×	×	
	②車両点検の実施（車の状況、タイヤ空気圧チェックなど）	毎日	×	△	
	③ICT施工を増やす	将来	—	△	
	④適切な積載量、作業負荷	毎日	—	○	
1-3.軽油使用量の削減	①社用車エコドライブの推進・徹底（アイドリングストップ、経済運転など）	毎日	×	×	
	②車両点検の実施（車の状況、タイヤ空気圧チェックなど）	毎日	×	×	
	③低燃費代車を増やす	将来	—	—	
	④社用車の車両別燃費の把握	適時	—	—	
2．廃棄物のリサイクル化と廃棄物排出量の削減（一般・産廃共通）	①廃棄物の分別促進	毎日	○	○	
	②リサイクル促進	毎月	△	△	
	③適切な業者の選定と引渡	適時	○	○	
	④マニフェスト伝票の適切な管理	適時	○	○	
3．水使用量の削減	①節水ステッカー表示	毎日	○	×	
	②節水の工夫と実施（適量の給湯、出しっ放し防止など）	毎日	△	—	
4．地域貢献	①地域清掃活動	年2回	○	—	

評価基準　○：出来た
△：改善の余地あり
×：出来なかった

6. 環境経営目標の実績

活動期間(試行期間):2022年10月～2022年12月)

	単位	基準年 2021年度	2022年10月～2022年12月			
			目標	実績	差異	結果の評価
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO_2	**63,431**	**62,797**	61,201.1	-1,596	
(1)電気使用量削減	kWh	10,135	10,033	9,392	-641	
本社	kWh	2,322.46	2,299	1,946	-353	
倉庫	kWh	1,153	1,142	324	-818	
現場	kWh	6,659	6,592	6,970	378	現場の稼働数は変動が大きいため様子を見る
農園	kWh	146	145	152	7	気温が高かったので換気扇の稼働率が高かった
(2)ガソリン使用量削減		—	—	—	—	—
現場	ℓ	3,428	3,394	5,895	2,501	ガソリン発電機の使用現場が増えたためと考える
(2)軽油使用量削減		—	—	—	—	—
現場	ℓ	19,945	19,746	16,640	-3,106	
2. 廃棄物排出量の削減	t	—	—	—	—	—
一般廃棄物排出量の削減	kg	48	48	43	-4	意識的なリサイクルの徹底が功を奏したと思われる
産業廃棄物排リサイクル率	%	100	95%以上	100	0	全量リサイクルを継続するべく努力する。
3. 水使用量の削減	m^3	60.0	59.4	61	2	車両の追加購入に伴う洗車の増加が原因であろう
6. 地域貢献活動の推進	回	—	1	1	0	環境ボランティアは実施した。

※二酸化炭素排出量の計算で使用した排出係数は、0.391kg-CO2／kWh(九州電力　2021年度・調整後)を使用した。

7. 環境経営計画の取組結果とそ評価、次年度の取組計画

1. 二酸化炭素排出量の削減

活動項目		実施状況			3ヵ月間の評価	次年度の取組計画
		10月	11月	12月		
電気使用量削減	昼休みの消灯	○	○	○	全員への周知が不足していたのか、電灯の消し忘れやアイドリング放置が目についた。	周知の徹底と意識の向上を課題として。活動目標の達成に向けて取り組む
	使用時以外のトイレの消灯	○	○	○		
	ＯＡ機器,空調機の退社時の電源オフ	△	△	△		
	空調機の室内温度設定・実施の徹底	△	△	△		
	空調機フィルタ-の定期的清掃	△	△	△		
	日よけ、ブラインドによる室温上昇防止　　（夏季）	○	○	○		
	節電表示の徹底	△	△	△		
ガソリン使用量削減	エコドライブの推進・徹底	×	×	×		
	車両点検の実施	○	△	△		
	ICT施工を増やす	△	△	△		
	適切な積載量、作業負荷	○	○	○		
軽油使用量削減	社用車エコドライブの推進・徹底	×	×	×		
	車両点検の実施	×	×	×		
	低燃費代車を増やす	—	—	—		
	社用車の車両別燃費の把握	—	—	—		

2. 廃棄物排出量削減

活動項目		実施状況			3ヵ月間の評価	次年度の取組計画
		10月	11月	12月		
一般廃棄物	廃棄物の分別促進	○	○	○	概ね達成できた。	現状維持にとどまらず、可能な限り削減できるよう努力する
一般廃棄物	リサイクル促進	○	○	○		
産業廃棄物	適切な業者の選定と引渡	○	○	○		
産業廃棄物	マニフェスト伝票の適切な管理	○	○	○		

3. 水使用量削減

活動項目	実施状況			3ヵ月間の評価	次年度の取組計画
	10月	11月	12月		
節水ステッカーの表示	△	△	△	現場でのステッカー表示が徹底できなかった。	更に使用量を削減できるよう取り組む。 ステッカーの表示徹底を周知する。
節水の工夫と実施	△	△	△		

4. 地域貢献活動の推進

活動項目	実施状況			3ヵ月間の評価	次年度の取組計画
	10月	11月	12月		
現状のロードクリーンボランティアを継続	○	－	－	達成できた。	今後も継続していくことはもとより、ボランティアの質の向上も視野にいれて取り組む。

○：実施できた　△：十分とは言えなかった　×：不十分であった

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動、製品及びサービスに適用される環境関連法規等は次のとおりです。

適用される法規等	適用される事項（施設・物質・活動等）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理・排出 マニフェストの交付・回収・保管の適正処理
建設リサイクル法	工事で排出する特定産業廃棄物の再資源化の実施
騒音規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の騒音レベルの遵守
振動規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の振動レベルの遵守
浄化槽法	点検・清掃、及び法定点検の実施
フロン排出抑制法	特定施設の定期点検、適切な廃棄

令和5年1月15日に上記の環境関連法規等の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

全 体 の 評 価

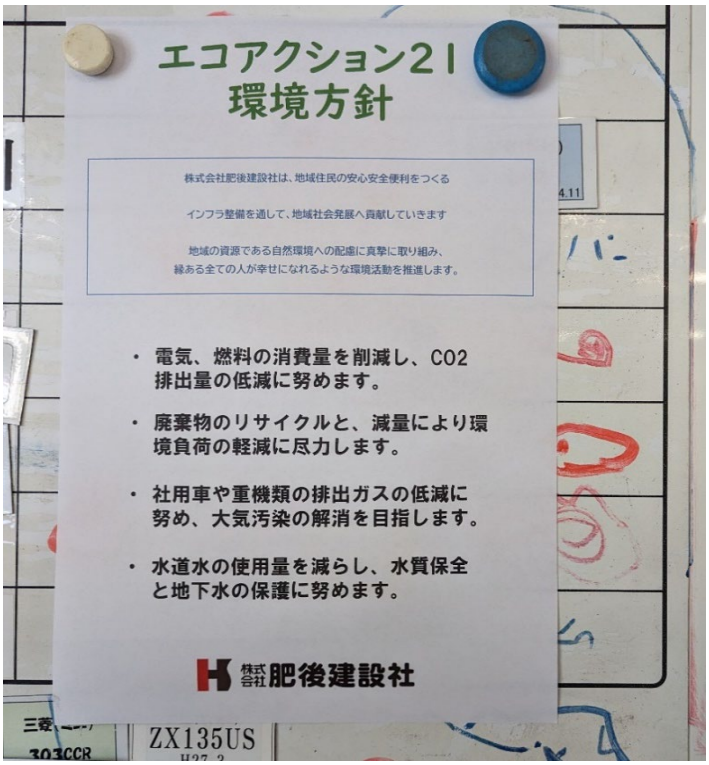
当社は環境保全に取り組むことを重要な社会的責任と考えています。今年度は温室効果ガス削減などの環境目標を設定し、全力で取り組んできました。その結果、多くの目標を達成することができましたが、中には未達成の項目もありました。
今回の未達成項目については、どのような理由で達成できなかったのか、どのような改善点があるのかを具体的に検証し、来年度の取り組みに活かしていきます。
私たち肥後建設社は、企業として社会的責任を果たすために、今後も社員や取引先、地域社会の皆様と共に、地球環境の保全に貢献し、持続可能な経営を推進していきます。

見直し事項

No.	環境ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｼｽﾃﾑの見直し事項	見直し結果	改善内容	期 限
1	環境経営方針の変更の必要性	今回は運用開始してまもないので変更の必要性なしと判断する。		
2	環境経営目標の変更の必要性	今回は運用開始してまもないので変更の必要性なしと判断する。		
3	環境経営計画の変更の必要性	今回は運用開始してまもないので変更の必要性なしと判断する。		
4	実施体制の変更の必要性	今回は運用開始してまもないので変更の必要性なしと判断する。		

環境活動の紹介

節電、節水喚起の一例



ポスターによる意識向上